

# 黒田庄隣保館だより

12月号



【編集・発行】黒田庄隣保館 住所: 西脇市黒田庄町前坂 294-1 TEL 28-2344 ・ 2025 年 12 月 15 日発行



テーマ『福祉と人権のまちづくり』

発表会最後のプログラム、隣保館教養講座三田音頭で会場が盛り上がりました。

去る 12 月 7 日(日)、黒っこプラザにおいて、「第 13 回黒田庄地区文化祭 ふれあいの歩み」が開催されました。

今年度も黒田庄隣保館、黒田庄まちづくり協議会、黒田庄地区人権のまちづくり協議会の 3 者が合同で開催することにより、地域のふれあいと絆がより一層深まったと感じています。

今回は、地域の皆さまのご厚志により、盛大なお楽しみ抽選会もあり、大いに盛り上がることができました。

『福祉と人権のまちづくり』をテーマに、地域のふれあいと絆づくり及び一人ひとりが尊重されるまちづくりを目的に開催し、約 300 名の参加者で賑わいました。

ご支援・ご協力をいただきました実行委員をはじめとする関係者の皆さま方には大変お世話になりました。紙面をお借りし、心より感謝申し上げます。

(関連記事を中面頁にも掲載しております。)

## 「透明」になんかされるものか



文芸教室 講師 阿江 誠

最近のスマホには、写真編集に「消しゴムマジック」という機能があるそうです。余計に映り込んでしまった人や物がこの機能を使うと消えてしまうのです。しかも不自然ではなく背景に同化して見えなくなってしまうのです。

つまり見えていたはずのものが透明化されてしまうのです。大変便利な機能ではありますが、少し怖い感じがしませんか。今回は透明の話です。

私の好きな学者に元大阪大学総長のわし鷲田清一だきよかずさんがいます。神戸新聞の「なぎさ汀にて」や朝日新聞の「おりおり折々のことば」の執筆者としてご存じの方も多いかもしれません。京都で一度お会いして話をさせてもらったとき、私の生意気でピント外れの質問にも優しく嫌みなく答えてくださいました。

その鷲田さんが、5月に“「透明」になんかされるものか”という本を出版されたと聞き、さっそく読んでみました。冒頭部分で「疑いもなくじぶんはここにいる（はず）なのに、それをだれも見えていない。このことを「透明」というふうに表現している文章に、ここ数日のあいだに立て続けに出会った」として、NHK朝ドラ「虎に翼」脚本家の吉田恵里香さんとBURAKU HERITAGE運営メンバーの上川多実さんを紹介されています。

そして、今年なんと偶然にもこのお二

人の講演を聞く幸運に恵まれました。6月21<sup>上</sup>日に加東市東条コスミックホールでの上川さん、8月2日に西脇市のオンラインでの吉田さんです。二人の話を私なりに抜粋すると、次のようになります。吉田さん：エンタメが『透明化してきた人々』の多さ。その罪深さを感じます。私は、透明化されている人たちを描きたい。主人公の寅子（ともこ）は女性が抑圧された社会に「はて？」と疑問を持ち、透明化されないように会話を続けます。上川さん：私みたいに部落に住んでいない、同和教育を受けたことのない人間は

『いないこと』にされ、社会から透明人間扱いをされていると感じる。

二人からは、ジェンダー差別や部落差別がなかったものとして透明化されることに耐えられない人たちの悲痛な叫びが聞こえてきます。

エリ・ヴィーゼルやマザー・テレサの言葉「愛の反対は憎しみではなく無関心である」のように、透明にされることは憎しみより冷酷なものなのです。

乱れがちな食生活をサポートする「なかったコトに！」というサプリがよく売れているそうです。確かにサプリや消しゴムマジックを使えばなかったことにできるかもしれません。しかし、いくら社会が「あるもの」「あったもの」を透明化して見えなくしようとしても、それを見抜き抗う人になりたいものです。

もう一度言います。“透明になんかされるものか”



文化祭「ふれあいの歩み」当日の様子です。



当日は、隣保館教養講座生、黒田庄こども園、小・中学生、自主活動グループ等による作品展示、小・中学生による人権作文の朗読の後、講師に木村 浩一（加古川市立尾上公民館長）さんをお招きし、「子どもたちの目にうつる戦争」～「我が家の新聞・当時の日記」を読んで～と題して、ご講演いただきました。

また、啓発コーナーとして、市戸籍住民課による本人通知制度、昼食コーナーでは、地元活動グループ黒っ娘おばんざいによる黒っ娘巻き寿司等、館教養講座、くらしの教室生によるホルモン鍋を販売していただきました。福祉バザーコーナーでは、虹の会工房の焼き菓子等の販売、また、にしわきジュニアじんけん教室によるもち米の販売もありました。

発表会では、隣保館教養講座生や地域の自主活動グループの皆さんによる数々の発表がありました。オープニングでは、西脇シニアカレッジの皆さんによる大正琴演奏、サークル活動グループの舞踊同好会の踊り、隣保館教養講座生による、3B体操、ギター演奏、フラダンス、健康運動&身体調整、そして、最後は、三田音頭保存会の音頭にあわせ、参加された皆さんが踊りの輪をつくりました。

その後、お楽しみ抽選会が行われ、盛大に終わることができました。

